



平成 27 年 12 月 24 日

各 位

会 社 名 三菱重工業株式会社
代 表 者 取締役社長 宮永 俊一
(コード番号 7011)
上 場 取 引 所 東 名 福 札
問 合 せ 責 任 者 グループ戦略推進室
広 報 部 長 齊 藤 啓 介
(TEL03-6716-3111)

(開示事項の経過) MRJ の開発スケジュールについて

当社及び当社のグループ会社（子会社）である三菱航空機株式会社（取締役社長：森本浩通、本社：愛知県西春日井郡豊山町）は、平成 27 年 12 月 16 日付「MRJ の開発スケジュールについて」にて、次世代のリージョナルジェット機である MRJ（Mitsubishi Regional Jet）の試験工程から量産初号機の納入時期に至るまでの全体スケジュールのレビューを行っている旨、発表いたしました。本日、全体スケジュールのレビュー結果につきまして、「MRJ 開発状況について」を公表いたしましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

なお、本件による「平成 28 年 3 月期の連結業績予想」への影響は、現時点ではないものと考えておりますが、今後開示すべき事実を決定あるいは開示すべき事実が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上

2015年12月24日

三菱航空機株式会社
三菱重工業株式会社

MRJ 開発状況について

三菱航空機と三菱重工業は、次世代リージョナルジェット機 MRJ (Mitsubishi Regional Jet) の量産初号機の納入時期を 2017 年第 2 四半期から 1 年程度先に変更致します。

現在までに、初飛行及びその後の試験飛行で機体の基本特性が良好であることを確認しておりますが、開発を加速する中いくつかの課題を認識し、これらの対策及び以下の観点を含め、全体スケジュールのレビューを行い、スケジュールを変更しました。

具体的には、これまでにエンジニアリング作業を米国知見者と共同で進めていく中で、より完成度の高い機体にするため、試験項目の追加・見直しを行い、これらを納入までのスケジュールに反映致しました。

なお、パートナーとも全体レビューを行い、開発スケジュールに反映しています。

今後、開発マイルストーン管理を行い、進捗に合わせてスケジュール精度を高めて参ります。また、北米での飛行試験の早期実現、3 拠点（三菱航空機本社・シアトルエンジニアリングセンター・モーゼスレイクテストセンター）の役割・体制を明確化し、各種作業の加速など施策を講じて、開発作業を推進していきます。

これらにより、安全・安心で完成度の高い機体と高品質なサービスをお客様に提供することを目指します。

以 上

■お問い合わせ先

三菱航空機株式会社 総務・広報グループ 小田・七篠・竹森

TEL : 0568-39-2117

三菱重工業株式会社 広報グループ 渡部・諏訪下

TEL : 03-6716-2168